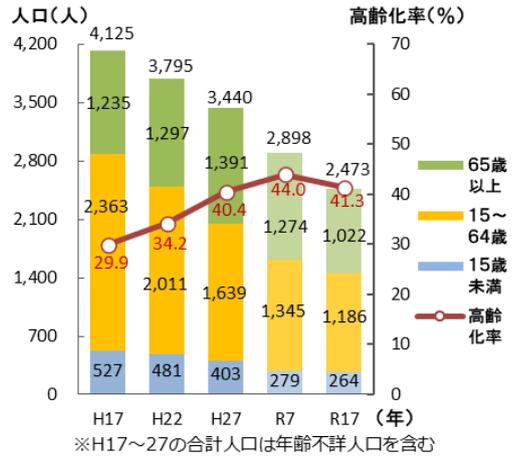


2-15. 世知原地域のまちづくり構想

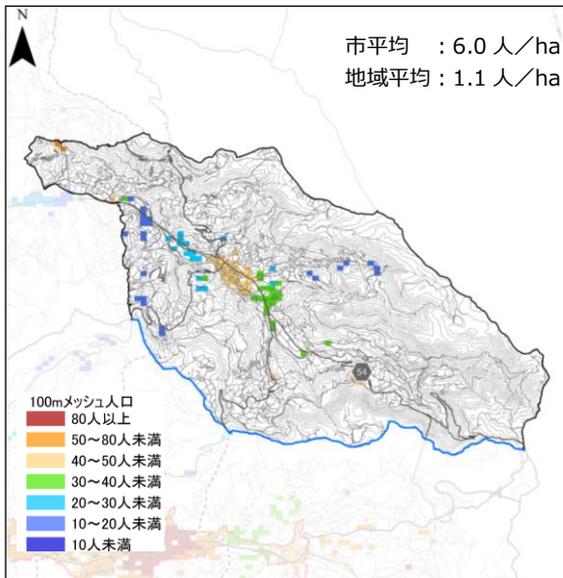
(1) 地域の概況

- 世知原地域は、世知原支所管内を対象とした約3,176haの面積を有する地域です。
- 人口は、平成27年の国勢調査において3,440人で、平成17年と比べ約17%減少しています。
- 栗迎地区や上野原地区では、人口が増加しており、栗迎地区では、人口密度が高い状況です。
- 高齢化率は40.4%で、市平均を上回っています。

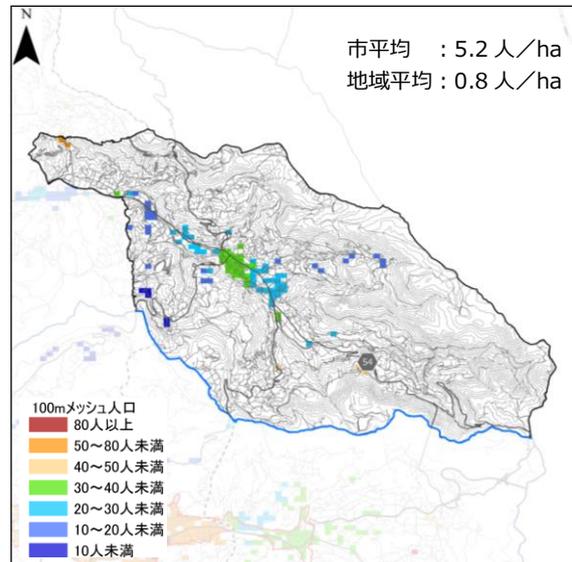
[人口推移及び年齢3区分人口比]



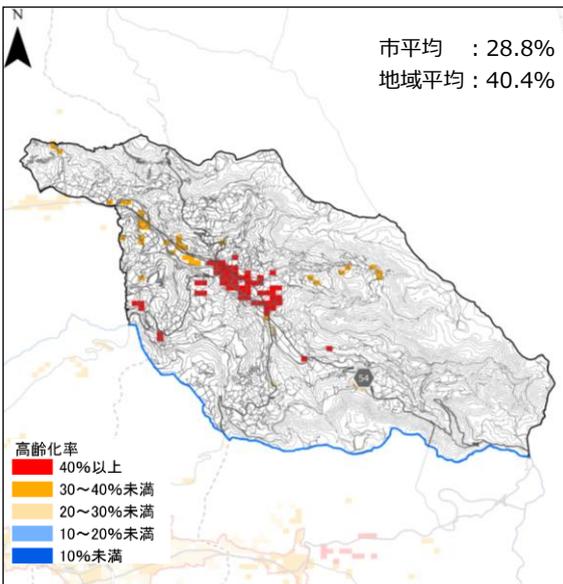
[人口密度(H27)]



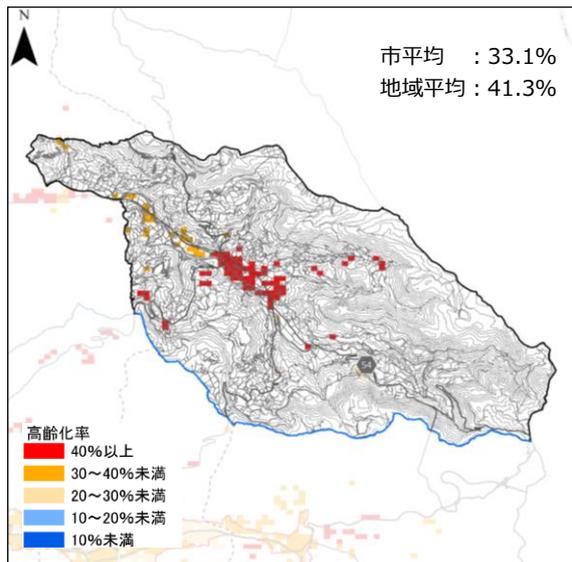
[人口密度(R17)]



[高齢化率(H27)]



[高齢化率(R17)]



※R17(2035)は、国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月推計)に基づく。

(出典：国勢調査)

(2) 地域の特性と主要課題

地域の特性

- 当地域は、北松県立公園に指定されている国見山や小塚岳に囲まれており、国見山は佐々川の源流となっています。
- 豊かな自然の中には温泉施設をはじめとした交流施設や、河川の石橋群、棚田など多くの地域資源を有しています。
- 地域の中央に位置する栗迎地区には、支所や教育・文化施設などの公共公益施設が立地しており、その周辺には、商店や住宅が集積しています。
- 世知原茶は地域の特産品としてブランド化され、その他に水稲や畜産業が営まれており、農業が盛んな地域です。以前からまちづくり活動が盛んで、近年では、若者を中心に未来の世知原町を考える会議が動き出しています。

地域の主要課題

● 居住環境の充実と災害リスクの低減

当地域の人口減少及び高齢化は大きく進行しており、高齢化率は現状で40%を超えています。日常の買い物は、地域内の他、吉井地域の生活サービス機能を利用しており、公共交通機関の利用のしやすさが重視され、かつ満足度が低くなっています。地域内で買物ができるような日常生活機能の維持・向上とあわせて、他地域への移動を支える交通機能の維持・利便性向上などによる居住環境の充実が求められます。また、当地域の集落地は広く災害リスクの高いエリアに囲われており、防災対策が求められます。

● 地域資源を活かした地域内外の交流の増進

当地域は、緑深い国見山や石橋群を有する佐々川といった自然景観を有しています。これらの自然景観や、世知原温泉、くにみの森公園といった既存の施設を活かした地域内外との交流の増進が求められます。

● 地域産業を活かした地域の活力の創出

当地域は、働く場が身近にあることが重視されており、かつ満足度が低い地域です。今後は、地元主体のまちづくり活動を契機に、世知原茶などの特産品を有する農業を守り、棚田などを活かした体験型の交流などによって地域の活力を高めていくことが求められます。

(3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

地域の将来像

国見山の山裾に広がる自然、農業を守り活かした
交流を育むまちづくり

地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近な生活サービス施設や、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・周辺の豊かな自然環境や農地近くでのゆとりある住まい、地域で支えあう住まいがある。
- ・自家用車利用で、吉井地域や隣接市町と連携し、多様な都市サービスを受けることができる。
- ・農業を活かして、情報発信や地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適な住みよいまちづくり
地域の日常生活を支える生活サービス機能の維持・充実にあわせ、地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持などによって、安全で快適な住みよいまちづくりを目指します。
- 豊かな自然や景観を活かした交流のまちづくり
国見山をはじめとした自然資源や特色ある石橋群の文化的景観、棚田などの活用によって、地域内外との交流を促進するまちづくりを目指します。
- 農業を活かした活力あるまちづくり
茶の生産をはじめとした地域の基幹産業である農業を守り、活かした地域の活力を生み出すまちづくりを目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、国見山に抱かれた豊かな自然の中に、温泉施設やくにみの森公園といった交流施設、石橋群、棚田をはじめとした特色ある景観を有しています。

また、世知原茶に代表される農業が盛んな地域であり、今後は、このような地域資源や地場産業の魅力を活かした地域外との交流を増進し、あわせて居住環境を充実させることで、活力があり快適に暮らせるまちづくりを進めていくものとします。

地域のまちづくりの方針

● 安全で快適な住みよいまちづくり① 地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

支所周辺を郊外生活核として位置づけ、公共公益施設の集積や既存の商店街を活かし、現状の都市機能の維持に努めるとともに、小さな拠点の形成を図ります。また、拠点施設での地域主体のまちづくり活動を支援し、内外の交流を促進します。

② 安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

板山トンネルの整備など、他の地域及び隣接市とのアクセスの改善や公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手段の確保を図ります。

③ 安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアの把握と周知を図り、安全な場所への居住を促進します。また、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。利用可能な空き家などの活用により地域の維持・再生につなげます。

● 豊かな自然や景観を活かした交流のまちづくり④ 豊かな自然環境の保全と活用

国見山をはじめとした豊かな自然環境や石橋群などの特色ある文化的景観の保全を図るとともに、イベントの開催などの地域内外との交流の場としての活用を図ります。

● 農業を活かした活力あるまちづくり⑤ 農業を活かした活力の創出

地域の特産品である世知原茶や米、和牛の生産の場となっている農地の保全を図るとともに、体験型のツーリズムなどによる地域の活力の創出を図ります。

世知原地域のまちづくり方針図

〈佐々川などの河川〉

④豊かな自然環境の保全と活用

〈想定される取組〉

- 石橋群などの文化的景観の保全
- ホテルなど野生動植物の生息環境の保全
- ★石橋群などのPR
- ★石橋を巡る回遊ルートの設定

郊外生活核

〈支所周辺〉

①地域の日常生活を支える郊外生活核の形成

〈想定される取組〉

- 現状の都市機能の維持
- 小さな拠点の形成
- 地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実
- 地域主体のまちづくり活動の支援
- ★地域資源を活かした地域活性化、情報発信

〈集落地〉

②安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

〈想定される取組〉

- 他の地域や隣接市を結ぶ道路網の改善
- 地域公共交通利用促進策の検討
- ★地域公共交通の利用
- ★幹線道路沿いの植栽美化活動の推進

③安全でゆとりある居住環境の形成

〈想定される取組〉

- 災害危険性の高いエリアの把握と周知
- ★空き家などの活用促進
- ★ハザード情報の共有など地域防災力の強化

〈位置図〉



〈自然環境共生地〉

④豊かな自然環境の保全と活用

〈想定される取組〉

- 国見山などの自然環境の保全
- ★ウォーキングルートの設定

⑤農業を活かした活力の創出

〈想定される取組〉

- 特産品生産の場となる農地や放牧地の保全
- ★農業体験の場としての茶畑や棚田の活用
- ★交流施設における地域農作物の販売

〈くにみの森公園周辺〉

④豊かな自然環境の保全と活用

〈想定される取組〉

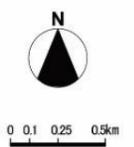
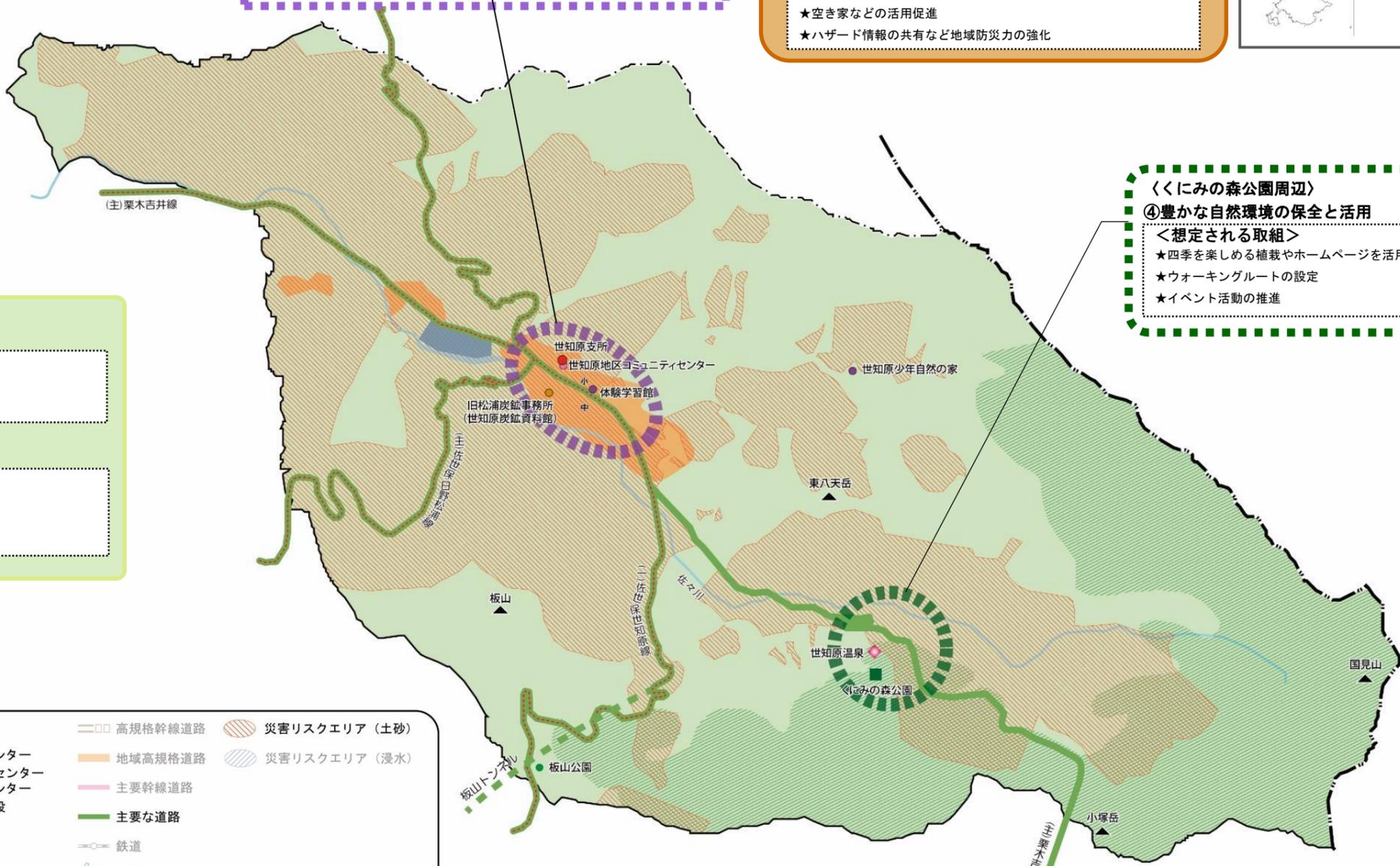
- ★四季を楽しめる植栽やホームページを活用したPRの充実
- ★ウォーキングルートの設定
- ★イベント活動の推進

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商共存地	コミュニティセンター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	生涯学習センター	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	教育・文化施設	鉄道	
自然環境共生地	小 小学校	国際航路	
保全すべき緑地	中 中学校	航路	
海岸	学 その他の主な学校	基幹バスルート	
観光施設	+ 保健福祉施設	河川	
特色ある公園	● その他主な公共施設		
主な公園	● 文化財・史跡		
主な運動施設			

凡例

〈想定される取組〉

- ★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

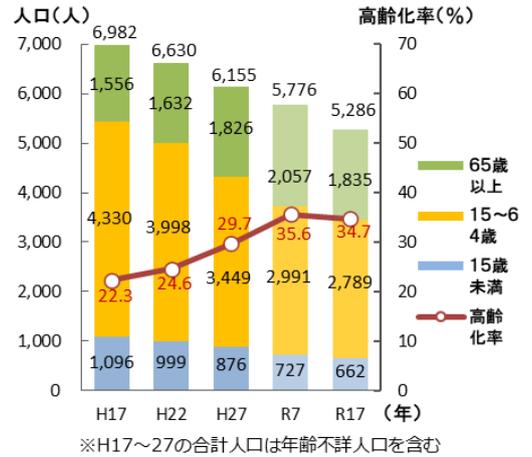


2-16. 小佐々地域のまちづくり構想

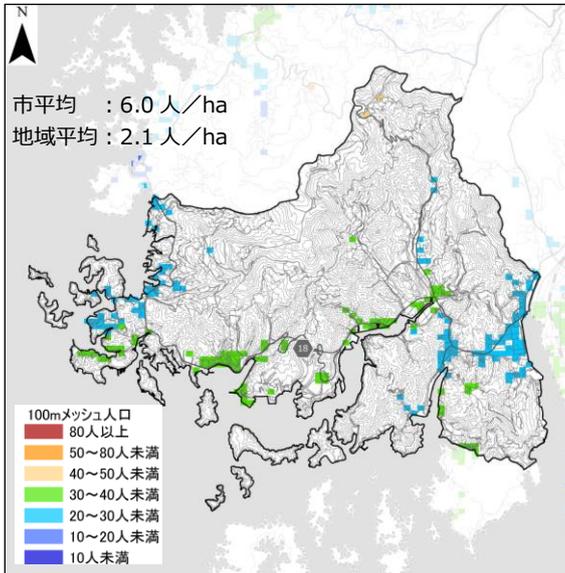
(1) 地域の概況

- 小佐々地域は、小佐々支所管内を対象とした約 2,968ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 6,155 人で、平成 17 年と比べ約 12%減少しています。
- 田原地区や黒石地区で人口密度が高い状況です。
- 高齢化率は 29.7%で、市平均をわずかに上回っています。

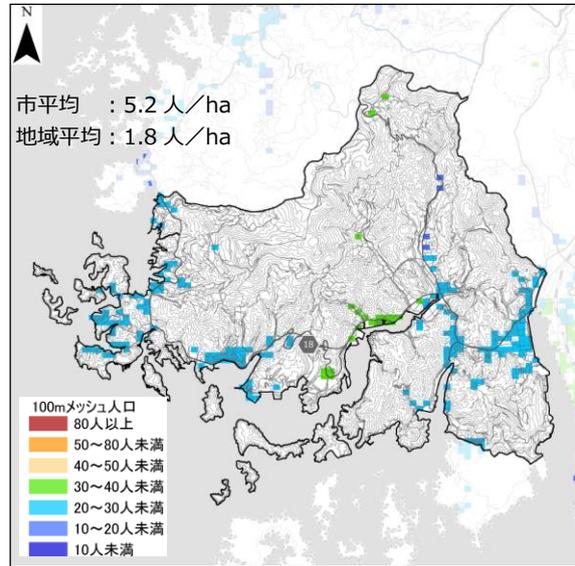
[人口推移及び年齢3区分人口比]



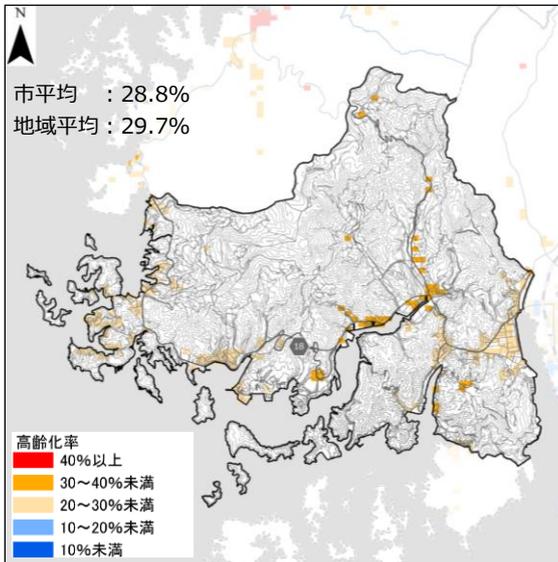
[人口密度 (H27)]



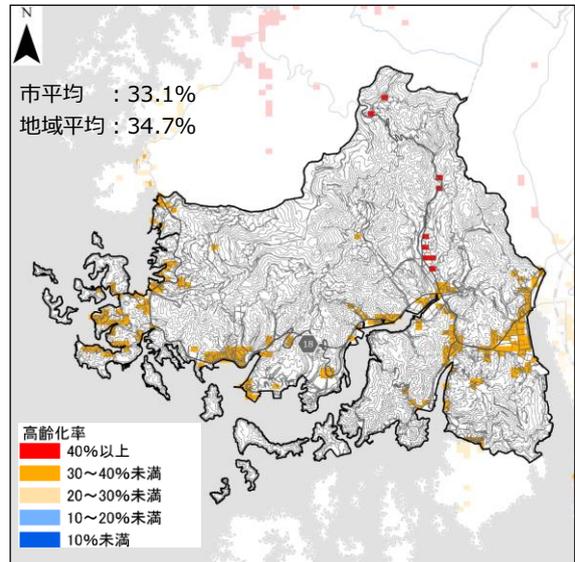
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典：国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。

(2) 地域の特性と主要課題

地域の特性

- 当地域は、日本の本土最西端に位置し、神崎鼻公園や冷水岳公園からは九十九島をはじめとする西海国立公園の絶景を望むことができます。
- 地域内には漁業集落が点在しており、黒石地区には、新興住宅地が形成されています。
- 地域の中央には、支所や教育・文化施設などの公共公益施設が集積しています。
- 漁業が盛んな地域であり、日本一の生産量を誇るいりこが特産品となっています。
- 佐々川河口付近には、ウエストテクノ佐世保などの工業団地が稼働し、西九州自動車道佐々インターチェンジの開通により、交通の利便性が高まっています。

地域の主要課題

● 居住環境の充実と災害リスクの低減

当地域は、人口減少や高齢化の急速な進行に伴い、小売店舗やバス便数が減少しており、地域内の施設の他、隣接する佐々町に集積している日常生活サービス機能を利用している状況です。今後は、身近な生活サービス機能の維持・充実をはじめ、公共交通機関の維持・利便性向上、地域内の移動手段の確保などによって居住環境の充実が求められます。また、幹線道路沿いに分布する集落地は、災害リスクの高いエリアが分布しており、防災対策が求められます。

● 九十九島など美しい自然を活かした交流の増進

当地域は、美しい自然環境への満足度が高い地域です。これらの美しい自然環境を保全するとともに、冷水岳園地や大悲観公園などを活用した交流の増進が求められます。

● 地域の水産業や工業の活性化による活力の維持・創出

当地域は、漁業が盛んな地域であり、西九州自動車道の整備にあわせ、水産物加工や販売の拡大、安定した企業活動など地域の活力の維持・創出が求められます。

(3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

地域の将来像

海の恵みあふれる豊かな自然を活かした
うまいのあるまちづくり

地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近な生活サービス施設や、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・周辺の豊かな自然環境に囲まれたゆとりある住まい、地域で支えあう住まいがある。
- ・自家用車利用で、隣接市町と連携し、多様な都市サービスを受けることができる。
- ・海洋体験や農水産業を活かして、地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適に暮らせる住みよいまちづくり
地域コミュニティの拠点となる郊外生活核の形成と地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持などによって、安全で快適に暮らせるまちづくりを目指します。
- 豊かな自然を活かした憩いのあるまちづくり
当地域内に点在する眺望が豊かな自然を守り、活かし地域外からも訪れる憩いのあるまちづくりを目指します。
- 水産業や産業の立地による活力のあるまちづくり
地域産業である水産業の6次産業化や企業の集積によって、活力と交流のあるまちづくりを目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、本土最西端の神崎鼻公園や、西海国立公園に指定されている島々を望む冷水岳をはじめとした景勝地を有しており、海洋スポーツの拠点もあります。

また、いりこの生産に代表される漁業が盛んであり、小佐々工業団地やウエストテクノ佐世保には企業が集積しています。

今後は、このような地域が持つうるおいのある自然環境を守り、活かした憩いや交流、地域産業を活かした活力を創出するまちづくりを進めるものとします。

地域のまちづくりの方針

● 安全で快適に暮らせる住みよいまちづくり

①地域コミュニティの拠点となる郊外生活核の形成と生活サービス機能の維持

小佐々支所周辺を郊外生活核として位置づけ、公共公益施設の集積を活かし、小さな拠点の形成を図ります。また、集落地の生活利便性を維持するため、現状の都市機能の維持に努めます。

②安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

他地域と連携する公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手段の確保を図ります。

③安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアの把握と周知を図り、安全な場所への居住を促進します。また、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。利用可能な空き家などの活用により地域の維持・再生につなげます。

● 豊かな自然を活かした憩いのあるまちづくり

④美しい自然環境の保全と活用

美しい眺望の自然環境の保全を図るとともに、冷水岳園地や神崎鼻公園、大悲観公園など地域内の公園では、地域内外の人が訪れる憩いの場としての活用を図ります。

● 水産業や産業の立地による活力のあるまちづくり

⑤特色ある農水産資源を活かした活力の創出

農地やいりこの生産が行われている漁業環境の保全を図るとともに、地域の農水産業と連携し地域の活力の創出を図ります。

⑥地域の活力を創出する企業活動の維持

小佐々工業団地やウエストテクノ佐世保においては、安定した企業活動の維持を図ります。

小佐々地域 まちづくり方針図



<集落地>
③安全でゆとりある居住環境の形成
 <想定される取組>
 ○災害危険エリアの把握・周知
 ○利用可能な空き家など活用促進
 ○円滑な移動を支える交通機能の確保
 ★既存施設などを活かした憩いや交流の場の創出
 ★地域防災力の強化

<冷水岳園地、大悲観公園周辺>
④美しい自然環境の保全と活用
 <想定される取組>
 ○景勝地からの眺望景観の保全
 ★イベントの開催などレクリエーションの場としての活用

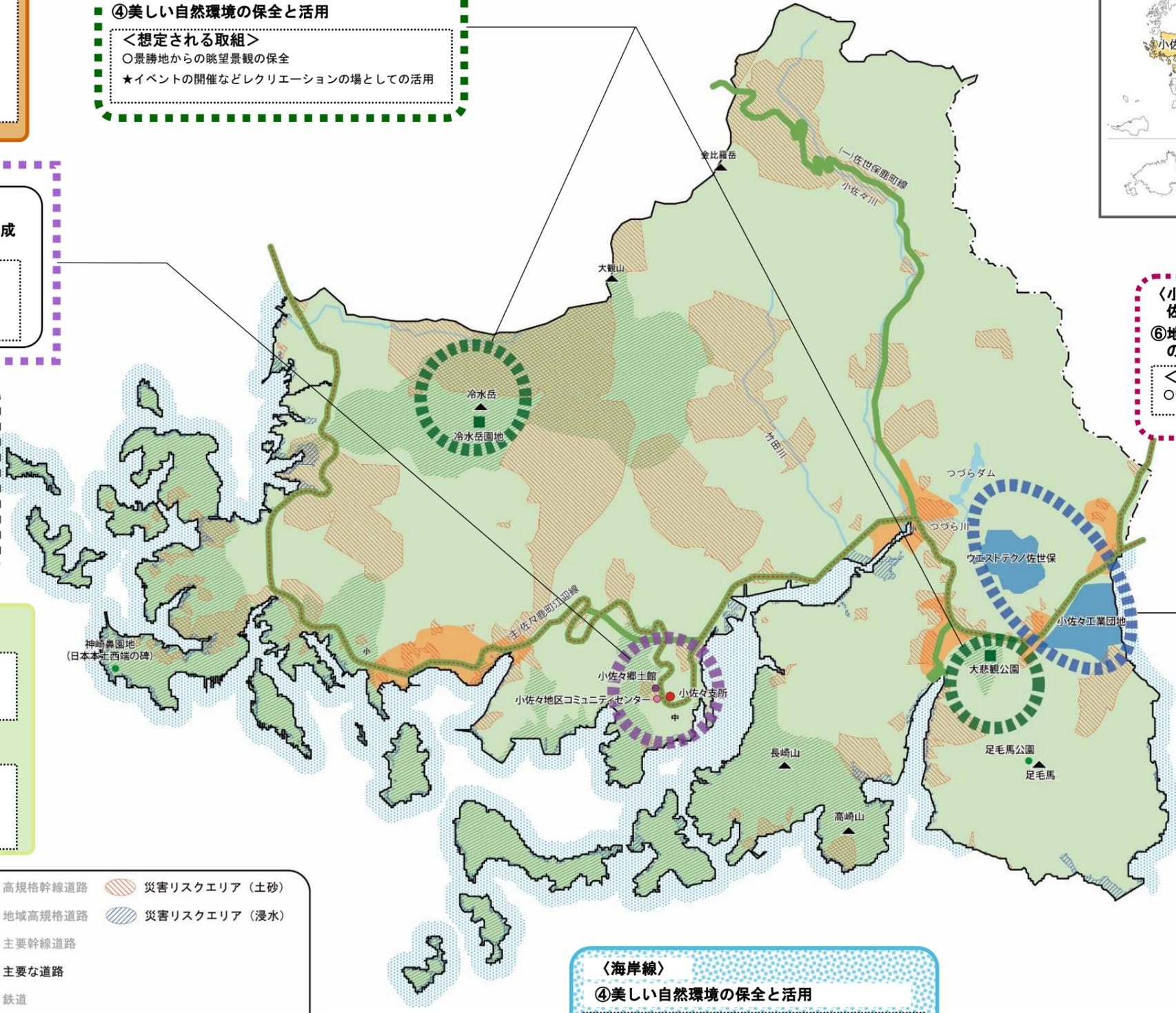
郊外生活核

<小佐々支所周辺>
①地域コミュニティの拠点となる郊外生活核の形成と生活サービス機能の維持
 <想定される取組>
 ○現状の都市機能の維持
 ○小さな拠点の形成
 ★既存の公共施設の有効活用

<交通環境>
②安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上
 <想定される取組>
 ○地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実
 ○地域公共交通利用促進策の検討
 ★地域公共交通の利用
 ★交通不便地区対策の充実（乗合タクシー等）

<自然環境共生地>
④美しい自然環境の保全と活用
 <想定される取組>
 ○冷水岳などの自然環境の保全
 ○つづら川のホテルなど野生動植物の生息環境の保全
⑤特色ある農水産資源を活かした活力の創出
 <想定される取組>
 ○農地、漁業環境の保全
 ★地域資源を生かした体験や交流の促進
 ★地域の農業と水産業の振興

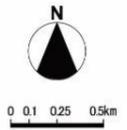
<小佐々工業団地・ウエストテクノ佐世保及びその周辺>
⑥地域の活力を創出する企業活動の維持
 <想定される取組>
 ○安定した企業活動の維持



商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商共生地	コミュニティセンター・生涯学習センター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	その他の主な公共施設	河川	
特色ある公園	文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			

<海岸線>
④美しい自然環境の保全と活用
 <想定される取組>
 ○九十九島の保全
 ★自然体験の場としての活用

凡例
 <想定される取組>
 ★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

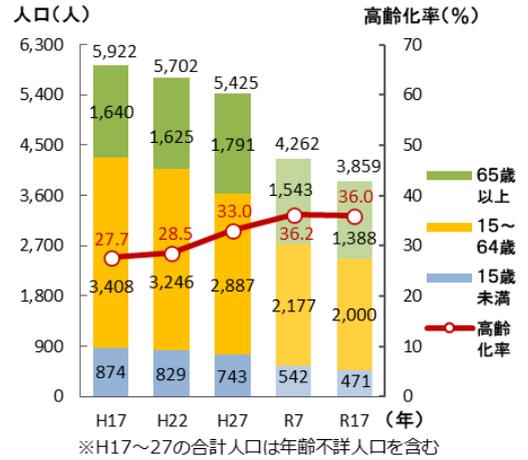


2-17. 江迎地域のまちづくり構想

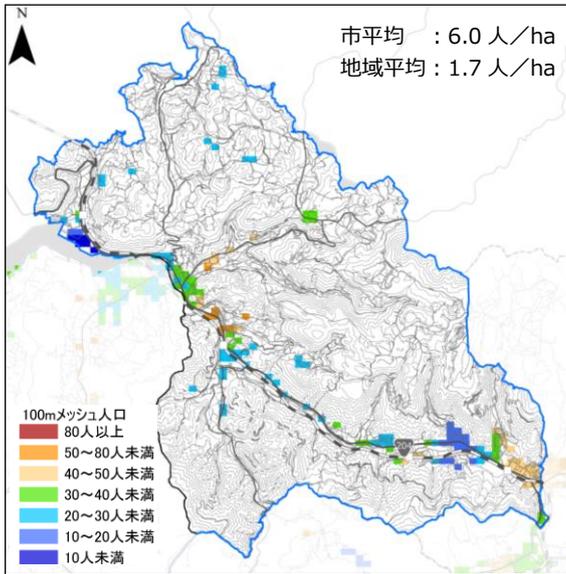
(1) 地域の概況

- 江迎地域は、江迎支所管内を対象とした約 3,207ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 5,425 人で、平成 17 年と比べると約 8%減少しています。
- 長坂地区や猪調地区、田ノ元地区において人口密度が高い状況です。
- 高齢化率は 33.0%で、市平均を上回っています。

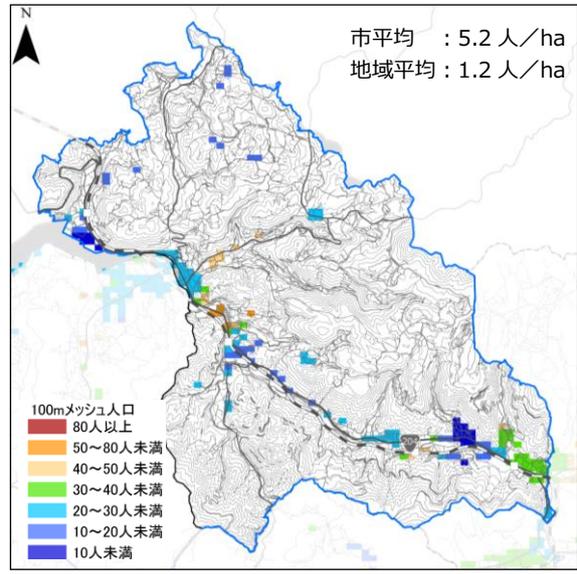
[人口推移及び年齢3区分人口比]



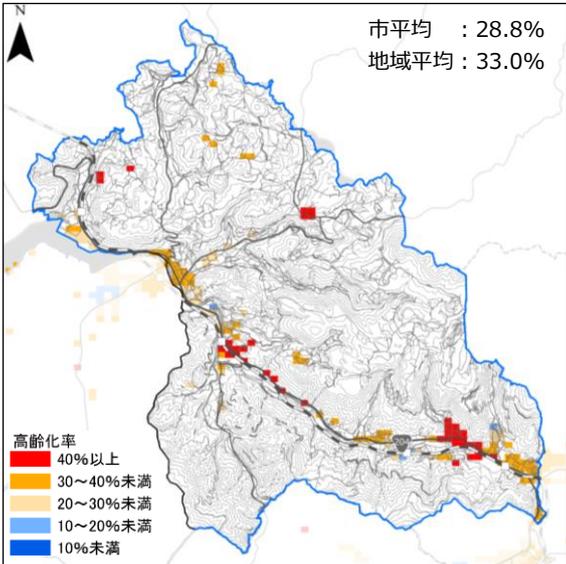
[人口密度 (H27)]



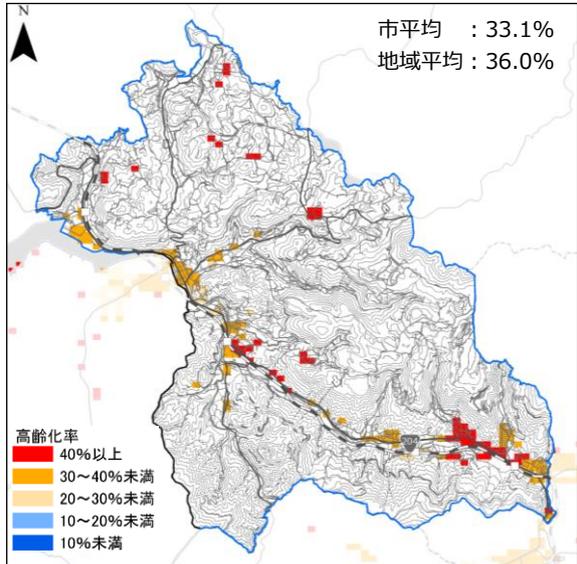
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典：国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。

(2) 地域の特性と主要課題

地域の特性

- 当地域は、北松県立公園に指定されている白岳を有し、地域内外から多くの人が集まり自然と親しむことができるレクリエーションの場となっています。
- 地域を東西に鉄道と国道 204 号が並行して横断しており、沿線に集落が形成されています。
- 支所周辺には、江迎警察署などの公共公益施設や商店などが集積し、鹿町地域と一体となった市街地が形成されています。また、田ノ元地区には、公共公益施設などの日常生活機能が集積しています。
- 山間部では農業が営まれており、埋立地区の工業地には企業が立地しています。
- 地域では宿場町としての歴史を活かした観光まちづくり活動が進められています。

地域の主要課題

● 居住環境の充実と災害リスクの低減

当地域では駅周辺においても人口減少、高齢化が進んでおり、小売店舗やバス便数が減少しています。生活環境では公園などの憩いの場や歩道の歩きやすさについて、満足度が低い状況です。今後は、生活サービス機能の維持・充実、公共交通機関の維持・利便性向上、地域内の移動手段の確保などによって他地域からも頼られる居住環境の充実が求められます。また、集落地は江迎川流域をはじめ土砂・浸水などの災害危険性の高いエリアがあり、防災対策が求められます。

● 地域資源を活かした地域内外との交流の増進

当地域は、宿場町という歴史を活かしたまちづくりが進められており、地域内外の交流の活性化に向けて、休憩をはじめ、飲食・宿泊、案内などの機能強化が求められます。

● 西九州自動車道の整備を活かした活力の創出

当地域は、農業や既存の工業を基幹産業としていますが、働く場が身近にあることについての満足度が低い地域ですが、今後西九州自動車道の整備に伴い江迎鹿町インターチェンジ（仮称）周辺での開発も期待されます。今後は、農業者や商業者の連携やインターチェンジ周辺の適正な土地利用のコントロールによって、地域の活力を高めていくことが求められます。

(3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

地域の将来像

特色ある歴史や伝統などの魅力を高め
活気ある交流を育むまちづくり

地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では身近な生活サービス施設が集積し、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・周辺の豊かな自然環境や農地近くでのゆとりある住まい、地域で支えあう住まいがある。
- ・自家用車利用で、鹿町北部や隣接市町と連携し、多様な都市サービスを受けることができる。
- ・農水産業、歴史的資源を活かして、観光まちづくり活動が行われ、地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適に暮らせる住みよいまちづくり
地域の日常生活を支える生活サービス機能の維持にあわせ、地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持などによって、安全で快適なゆとりのあるまちづくりを目指します。
- 自然環境や宿場町の歴史を活かした地域が一体となった交流のまちづくり
豊かな自然とともに歴史文化資源といった地域資源を活かし、また、これらの連携を強化することで地域が一体となった交流のまちづくりを目指します。
- 地域の農業と商業の連携やインターチェンジ活用による活力あるまちづくり
地域産業となっている農地の保全とともに、生産者と商店街との連携強化や、江迎鹿町インターチェンジ（仮称）周辺における適正な開発誘導などにより、地域の活力を生み出すまちづくりを目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、北松県立公園の美しい自然や宿場町時代の歴史が感じられる本陣跡といった歴史文化資源など魅力ある地域資源を有しています。また、江迎支所周辺においては、公共公益施設が集積し、区画整理された良好な街並みが形成され、今後は江迎インターチェンジの開設によって広域的な交流機会の拡大が期待されます。

今後は、このような魅力ある地域資源を活用し、地域内外との交流や連携、地域が一体となった活性化の取組によって活力のあるまちづくりを進めるものとします。

地域のまちづくりの方針

● 安全で快適に暮らせる住みよいまちづくり

①鹿町地域と一体となった日常生活を支える郊外生活核の形成

公共公益施設が集積し、商店街が形成されている支所周辺は、郊外生活核として位置づけ、現状の都市機能の維持に努めるとともに、鹿町地域と一体となった地域内外の交流の場としての活用を図ります。

②地域内の交流を支える拠点の形成

潜竜ヶ滝駅付近では、現状の都市機能の維持に努めます。既存の公共公益施設を活かした小さな拠点の形成を図ります。

③安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

主要幹線道路などでは、安全な歩行空間の確保を図ります。また、他地域と連携する公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手手段の確保を図ります。

④安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアの把握と周知を図り、安全な場所への居住を促進します。また、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。利用可能な空き家などの活用により地域の維持・再生につなげます。

● 自然環境や宿場町の歴史を活かした地域が一体となった交流のまちづくり

⑤地域内外からの交流に資する自然環境や歴史文化資源の保全・活用

白岳自然公園や潜竜ヶ滝、本陣跡などの地域資源を保全し、地域内外の人が自然や歴史と親しみふれあえる場としての活用を図ります。また、これらの地域資源を結ぶ道路や鉄道沿いの空き家を活用し、交流や憩いの空間の創出を図ります。

- 地域の農業と商業の連携やインターチェンジ活用による活力あるまちづくり

- **⑥農・商の連携による活力の創出**

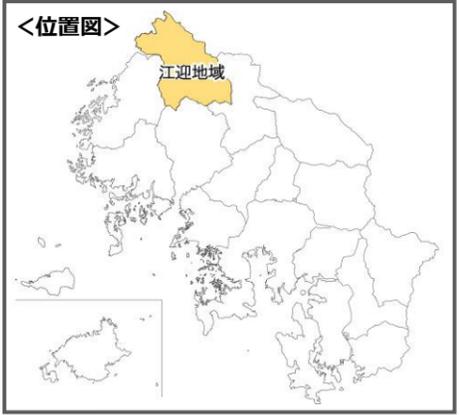
地域産業を支える農産物の生産の場となっている農地の保全を図るとともに、生産者と地元商業者が連携し、既存ストックを活用して農業と商業の活力の創出を図ります。

- **⑦新たな活力を創出する工業地の活用やインターチェンジ周辺の適正な土地利用誘導**

埋立地区の工業地では、既存の工業基盤を活かした新たな活力を創出する土地利用の誘導を図ります。

インターチェンジ周辺では、開発ニーズを踏まえ、周辺環境と調和した土地利用誘導を図るための検討を進めます。

江迎地域のまちづくり方針図



〈自然環境共生地〉

⑤地域内外からの交流に資する自然環境や歴史文化資源の保全・活用

<想定される取組>

- 潜竜ヶ滝などの自然環境の保全
- ★自然体験の場としての活用
- ★地域内に点在する資源のPR

⑥農・商の連携による活力の創出

⑦新たな活力を創出する工業団地の活用やインターチェンジ周辺の適正な土地利用誘導

<想定される取組>

- 地域産業を支える農地の保全
- ★生産者と地元業者との連携した取組みの強化

〈白岳自然公園周辺〉

⑤地域内外からの交流に資する自然環境や歴史文化資源の保全・活用

<想定される取組>

- 白岳など自然環境の保全
- ★自然観察、憩いなどレクリエーションの場としての活用

〈潜竜ヶ滝駅周辺〉

②地域内の交流を支える拠点の形成

<想定される取組>

- 現状の都市機能の維持
- ★地域内の交流に資する既存の公共公益施設の活用

生活核

〈江迎支所周辺〉

①鹿町地域と一体となった日常生活を支える郊外生活核の形成

⑤地域内外からの交流に資する自然環境や歴史文化資源の保全・活用

<想定される取組>

- 現状の都市機能の維持
- 小さな拠点の形成
- 地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実
- ★宿場町を活かした観光まちづくり活動の推進
- ★空き家を活用したにぎわいや交流の場の創出
- ★ハザード情報の共有など地域防災力の強化

〈集落地〉

④安全でゆとりある居住環境の形成

<想定される取組>

- 災害危険性の高いエリアでの把握と周知
- ★ハザード情報の共有など地域防災力の強化

③安全で快適な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

<想定される取組>

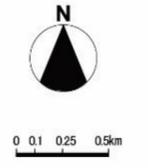
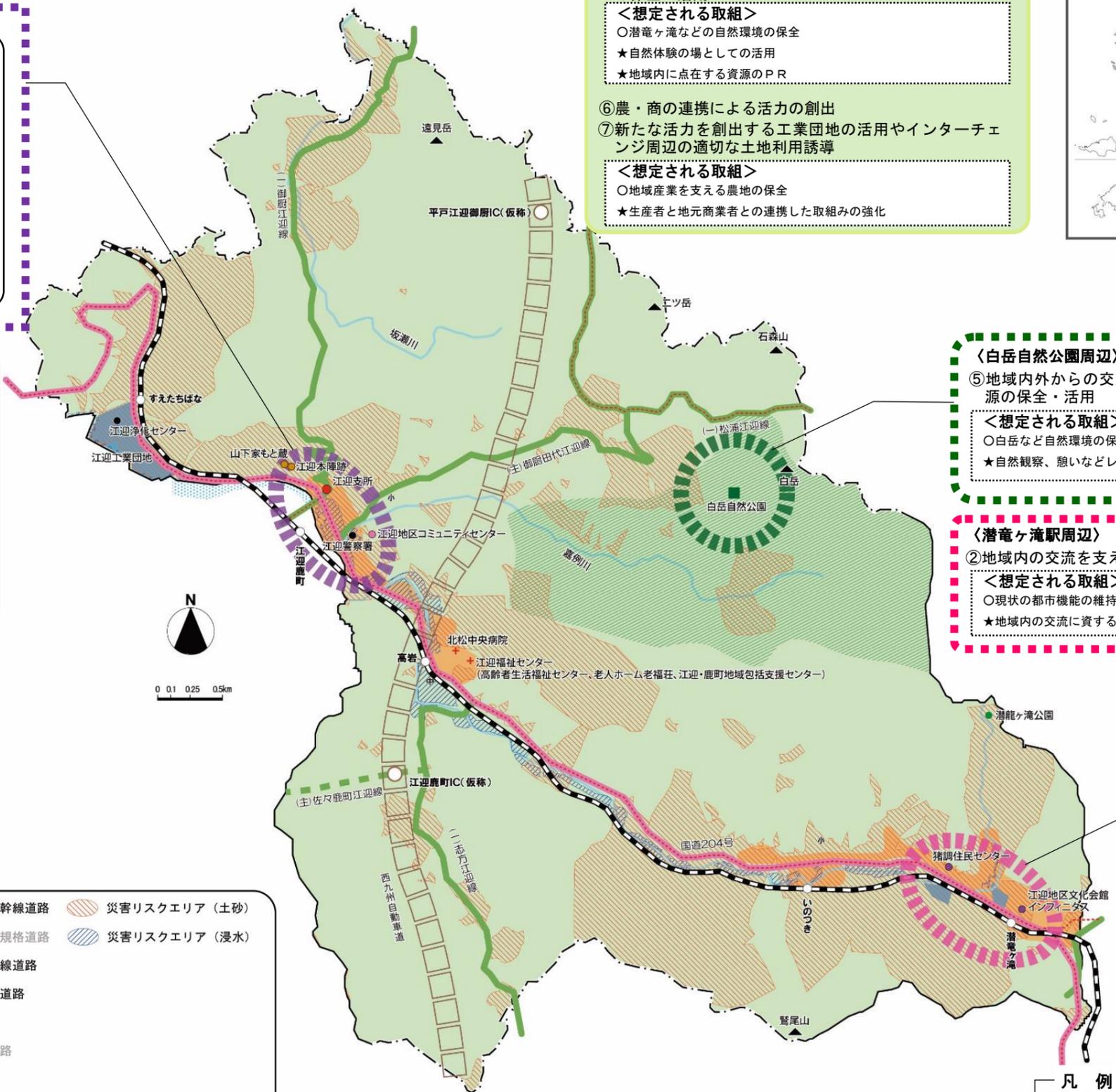
- 地域公共交通利用促進策の検討
- 安全な歩行空間の確保
- ★地域公共交通の利用
- ★交通不便地区対策の充実（乗合タクシー等）

〈江迎工業団地、工業地、インターチェンジ周辺〉

⑦新たな活力を創出する工業地の活用やインターチェンジ周辺の適正な土地利用誘導

<想定される取組>

- 雇用創出に向けた適正な土地利用誘導方針の検討



商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商工共存地	コミュニティセンター・生涯学習センター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	+ 保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	● その他主な公共公益施設	河川	
特色ある公園	● 文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			

凡例

<想定される取組>

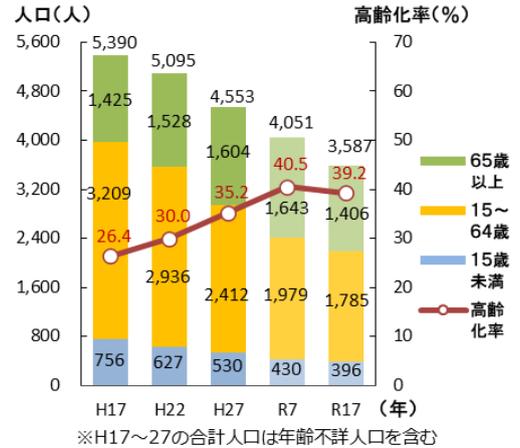
★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

2-18. 鹿町地域のまちづくり構想

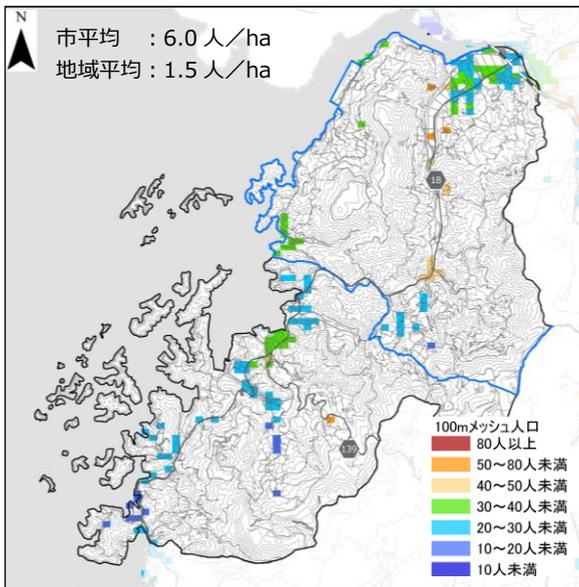
(1) 地域の概況

- 鹿町地域は、鹿町支所管内を対象とした約 3,024ha の面積を有する地域です。
- 人口は、平成 27 年の国勢調査において 4,553 人で、平成 17 年に比べ約 16%減少しています。
- 一方で、深江潟地区で人口が増加しており、人口密度が高い状況です。
- 高齢化率は 35.2%で、市平均を上回っています。

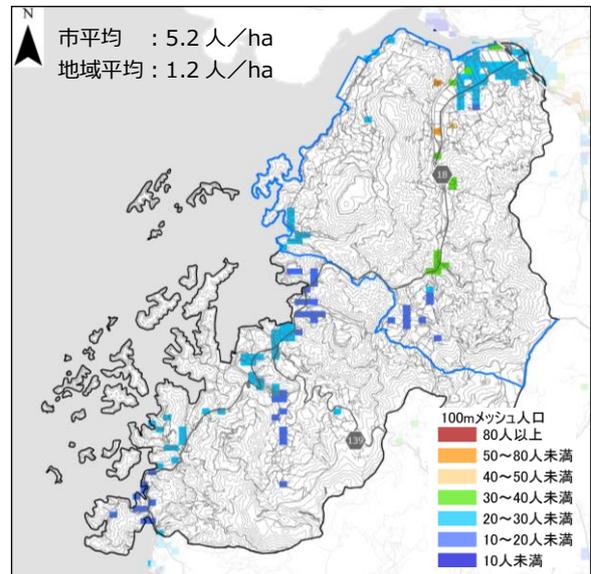
[人口推移及び年齢3区分人口比]



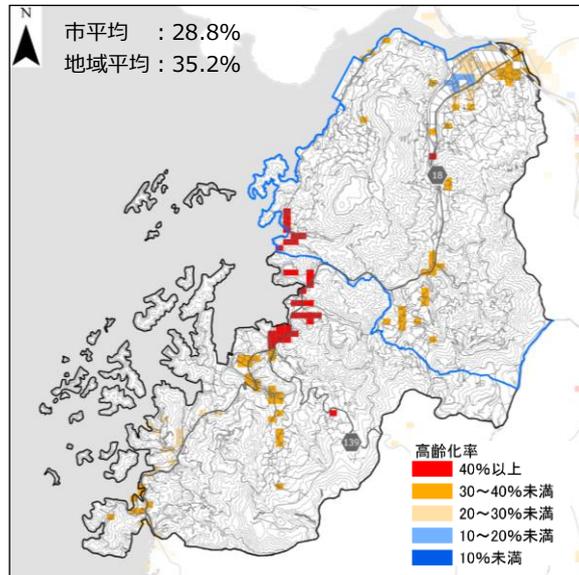
[人口密度 (H27)]



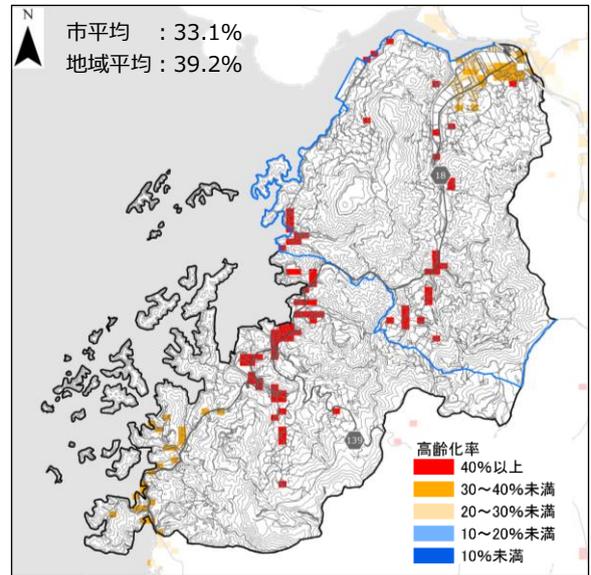
[人口密度 (R17)]



[高齢化率 (H27)]



[高齢化率 (R17)]



(出典：国勢調査)

※R17 (2035) は、国立社会保障・人口問題研究所(平成 30 年 3 月推計)に基づく。

(2) 地域の特性と主要課題

地域の特性

- 当地域の海岸部や島々は、西海国立公園に指定されており、北九十九島と呼ばれ、豊かな海洋資源を活かしたマリトレジャーを楽しむことができます。
- 長串山や大西山からは、北九十九島の絶景を望むことができ、長串山はつつじの名所として多くの人々が訪れています。
- 支所付近には、教育施設などの公共公益施設が立地しています。
- 江迎鹿町駅付近では温泉施設をはじめとした日常的な生活サービス機能が集積し、江迎地域と一体となった市街地が形成されています。
- 海岸沿いではトラフグなどの養殖が盛んに行われています。

地域の主要課題

● 居住環境の充実と災害リスクの低減

当地域は人口減少及び高齢化が急速に進行しており、高齢化率は現状で30%を超えています。日常の買い物や医療サービスは、隣接する江迎地域を利用していますが、小売店舗、医療施設ともに大きく減少しています。買い物や医療施設が身近にあることや、公共交通の利用のしやすさも重要かつ満足度の低いものとなっており、当地域の日常的な生活サービス機能の維持・向上とあわせ、公共交通サービスの充実が求められます。

また、土砂・浸水などの災害危険性の高いエリア周辺の集落地においては、防災対策が求められます。

● 地域資源を活かした地域内外との交流の増進

北九十九島の美しい島々を望む、長串山、大西山などの優れた眺望の場や、多様な自然体験が楽しめる海岸線や島々などの保全とあわせ、地域内外との交流の場として活用が求められます。

● 水産業を活かした地域の活力の向上

当地域は、働く場が身近にあることが重要視され、かつ満足度が低い地域です。地域の基幹産業である水産業を活かした、体験型のツーリズムや工業地への企業の立地などによる地域の活力の向上が求められます。

(3) 地域の将来像とまちづくりの主な視点

地域の将来像

北九十九島の美しい自然を体感できる
訪れたいくなるまちづくり

地域の生活スタイル

- ・支所周辺の郊外生活核では、既存施設を活かした地域コミュニティの場がある。
- ・周辺の豊かな自然環境や農地近くでのゆとりある住まい、地域で支えあう住まいがある。
- ・自家用車利用で、江迎地域の身近な生活サービスを受けることができる。
- ・農水産業、歴史的資源を活かして、地域内外の人がふれあい、交流する場がある。

地域のまちづくりの主な視点

- 安全で快適に暮らせるゆとりあるまちづくり
地域コミュニティの拠点となる郊外生活核の形成とあわせ、地域のニーズや需要に見合った地域公共交通の維持、安全で快適な生活基盤の充実によって、住みよいまちづくりを目指します。
- 美しい自然を活かした交流のまちづくり
北九十九島の一角をなす海岸線や島々、これらを眺望する長串山や大西山などの自然を守り、活かした地域内外との交流を促進するまちづくりを目指します。
- 水産業や産業立地による活力のあるまちづくり
恵まれた水産資源や工業地の活用などによって、地域の活力を生み出すまちづくりを目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

地域におけるまちづくりの基本的方針

当地域は、北九十九島の一角を形成する美しい海岸や島々を有しており、これらはトラフグなどの養殖や体験型ツーリズムの場ともなっています。

また、これらの美しい自然を眺望できる長串山や地域内外の交流の場となっている温泉施設などの地域資源を有しています。

今後は、このような魅力ある地域資源を活用した地域内外との交流の増進と、地域産業により活力を創出し、訪れたいまちづくりを進めるものとします。

地域のまちづくりの方針

● 安全で快適に暮らせるゆとりあるまちづくり

①地域コミュニティの拠点となる郊外生活核の形成

鹿町支所周辺を郊外生活核と位置づけ、現状の都市機能の維持に努めるとともに、既存の公共公益施設の立地を活かし地域内交流の場となる小さな拠点の形成を図ります。

②江迎地域と一体となった拠点の形成

江迎鹿町駅付近では現状の都市機能の維持を図るとともに、温泉施設などを活かし江迎地域と一体となった地域内外との交流拠点の形成を図ります。

③安全な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

他地域との連携を強化する公共交通機関の維持・利便性向上を図るとともに、地域内の移動手段の確保を図ります。

④安全でゆとりある居住環境の形成

災害危険性の高いエリアの把握と周知を図り、安全な場所への居住を促進します。また、地域が主体となった防災活動への支援を図ります。利用可能な空き家などの活用により地域の維持・再生につなげます。

● 美しい自然を活かした交流のまちづくり

⑤地域内外との交流に資する自然環境の保全・活用

北九十九島や、その景色を望む長串山、大西山など豊かな自然環境の保全を図るとともに、地域内外から人々が訪れ自然と親しむことができる交流の場として活用を図ります。

● 水産業や産業立地による活力のあるまちづくり

⑥漁業などの地域産業の場の保全・活用

トラフグやタイなどの養殖が盛んに行われている漁業環境の保全や農地の保全を図るとともに、6次産業化や体験型ツーリズムなどによる地域の活力の創出を図ります。

⑦新たな活力を創出する工業地の活用

低・未利用地が残る工業地においては、地域の雇用の場となる適正な土地利用の誘導を図ります。

鹿町地域のまちづくり方針図

〈集落地〉

③安全な移動を支える交通機能の維持・利便性向上

- 〈想定される取組〉
- 地域公共交通利用促進策の検討
 - ★地域公共交通の利用

④安全でゆとりある居住環境の形成

- 〈想定される取組〉
- 災害リスクの高いエリアへの宅地化抑制
 - ★地域防災力の強化

〈海岸線〉

⑤地域内外との交流に資する自然環境の保全・活用

- 〈想定される取組〉
- 北九十九島の保全
 - ★海洋レジャーなど自然体験の場としての活用

⑥漁業などの地域産業の場の保全・活用

- 〈想定される取組〉
- 特産品生産の場となる漁業環境の保全
 - ★漁業体験による地域の活力の創出
 - ★特産品のPR

〈工業地〉

⑦新たな活力を創出する工業地の活用

- 〈想定される取組〉
- 雇用創出に向けた適正な土地利用の誘導

〈自然環境共生地〉

⑤地域内外との交流に資する自然環境の保全・活用

- 〈想定される取組〉
- 大西山などの自然環境の保全

⑥漁業などの地域産業の場の保全・活用

- 〈想定される取組〉
- 農地の保全
 - ★農業体験による地域の活力の創出

〈位置図〉



〈江迎鹿町駅～鹿町温泉やすらぎ館周辺〉

②江迎地域と一体となった拠点の形成

- 〈想定される取組〉
- 日常生活サービス機能の維持・向上（商業、医療、福祉、金融など）
 - ★温泉施設を活かした地域内外の交流の増進

郊外生活核

〈鹿町支所周辺〉

①地域コミュニティの拠点となる郊外生活核の形成

- 〈想定される取組〉
- 現状の都市機能の維持
 - 小さな拠点の形成
 - 地域内の円滑な移動を支える交通機能の充実
 - 交通手段の確保の支援
 - ★地域内外の人が集う交流サロンの運営
 - ★地域資源の情報案内

〈長串山公園周辺〉

⑤地域内外との交流に資する自然環境の保全・活用

- 〈想定される取組〉
- 眺望の場としての自然環境の保全
 - ★イベントなどの開催による地域内外の交流の増進
 - ★イベント時の移動手段の導入に向けた検討

凡例

- 〈想定される取組〉
- ★印は、主に地域や民間が主体となった取組が期待されるもの。

商業・業務地	市役所	高規格幹線道路	災害リスクエリア（土砂）
工業地	支所・行政センター	地域高規格道路	災害リスクエリア（浸水）
住商共存地	コミュニティセンター・生涯学習センター	主要幹線道路	
住宅地（用途地域内）	教育・文化施設	主要な道路	
郊外住宅地（用途地域外）	小 小学校	鉄道	
自然環境共生地	中 中学校	国際航路	
保全すべき緑地	学 その他の主な学校	航路	
海岸	+ 保健福祉施設	基幹バスルート	
観光施設	● その他主な公共公益施設	河川	
特色ある公園	● 文化財・史跡		
主な公園			
主な運動施設			

